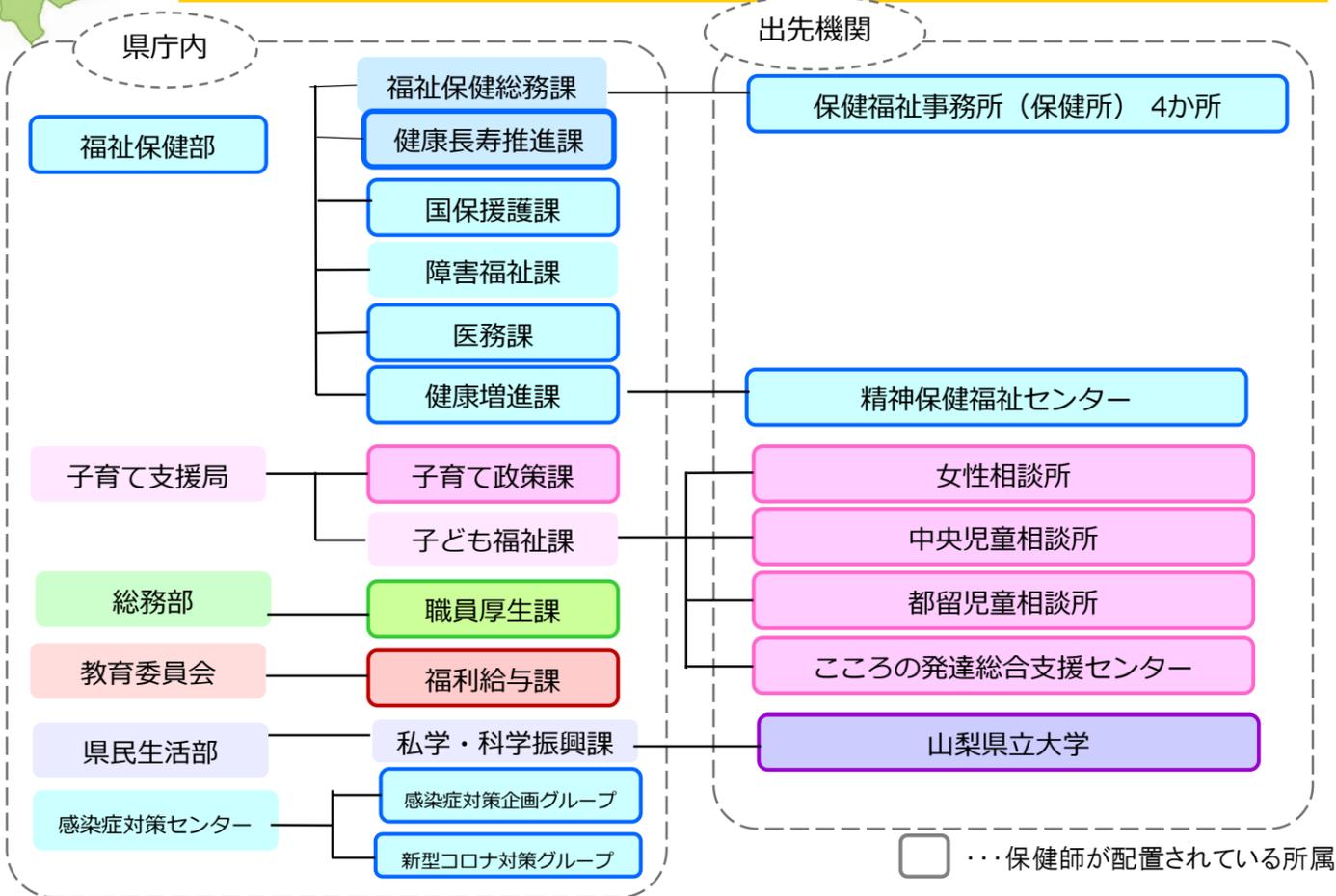


先輩たちが働く場所 ～いろいろな分野で働いています～



本庁・出先機関 配置図

～先輩たちの職場は、県内いろいろなところにあります～



～山梨県職員 保健師の採用や募集に関するお問い合わせ～

山梨県 福祉保健部 福祉保健総務課 総務経理担当 TEL 055-223-1441
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 / 山梨県ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp>

山梨県職員「保健師」業務案内

新採用保健師研修会



不安の多い一年目も
仲間と一緒に
スキルアップ！



県民の命を守るための災害時支援



他県で災害が発生した時は、
要請を受けて被災地での
保健活動を実施します。



公務員の保健師
として社会や
地域に貢献する

21 推進会議



データを示し、
地域の現状、
課題を周知



地域の課題解決のための
会議や検討会

パーキンソン病
リハビリ学習会



難病を抱えながら生活する
療養者本人や家族を対象に
交流会や学習会を企画・
実施します。

小児慢性児
保護者交流会



難病患者支援、母子保健、感染症対策、高齢者支援、障害者支援（精神・発達障害など）、地域看護の推進、健康づくりなど、幅広い保健福祉の業務に携わっています。

勤務先としては、本庁（県庁）出先機関（保健福祉事務所、児童相談所など）があり、公衆衛生のスペシャリストとして、多職種と連携しながら県民の健康増進や予防、福祉の充実を目指し日々仕事をしています。

また、集合研修や県外への派遣研修、職場のOJT等、就職後のキャリアアップをサポートする体制を整えています。

●大自然に囲まれ、グルメも豊富な「やまなし」で働きましょう！

世界遺産の富士山をはじめ、富士五湖周辺やハケ岳連峰、南アルプス連峰など日本を代表する名峰に囲まれた山梨には、国際的な観光スポットが数多くあります。

雄大な自然パノラマを眺め、休日には自然に触れながら、腰を据えて山梨で働いてみませんか。



山梨は、全国的に有名なワインの産地です。ワインが持つ固有の歴史や伝統、それに関わる人の情熱などによって今日のワインづくりが支えられています。

ワインのように、これからの社会人生活を山梨でゆっくりと「醸成」してみませんか。

果樹王国山梨ならではの「味覚」もお薦めです。



先輩たちの1日のタイムスケジュール & メッセージ

早川 弘晃 さん (健康増進課)

8:30 8:45 10:00 12:00 13:30 15:30 17:15

登庁 (メール確認)	事業企画・立案	庁内打合せ	昼休み	企業との打合せ	課内レク資料作成	退庁 (イクメン退庁日)
------------	---------	-------	-----	---------	----------	--------------



- H23.4.1 峡東保健福祉事務所(採用)
- H26.4.1 富士・東部保健福祉事務所
- H28.4.1 中北保健福祉事務所峡北支所
- H31.4.1 障害福祉課
- R3.4.1 健康増進課



所属は令和5年1月現在

◆現在の仕事

依存症やひきこもりについての正しい知識の普及や支援体制の整備、関係機関との連携体制の構築などの業務を担当。

◆現在の仕事のやりがい、魅力

保健所で感じた地域課題を国や先進県のトレンド、本県のデータなどを組合せ予算化し、新たな施策を企画・立案できること。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

ターミナル期の独居高齢の結核患者に対し、かかりつけ医、地域包括支援センター、薬局、市町村、保健所などの支援機関が「ONE TEAM」となり看取りまで行ったことです。

◆県職保健師になった理由

生まれ育った山梨県に自分の知識等を活かしながら、恩返しをしたいと思ったからです。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

難病、感染症、精神の方々に対する様々な支援を通じて、相談対応の選択肢が増えてきているなど感じたときです。

◆今後の目標

知識と技術の向上により、様々な健康課題に対して個別支援や施策展開を通じ、県民の健康増進や福祉の向上に寄与したい。

◆山梨県の魅力！

人口が少ない分、人と人の繋がりが密接で、一度連携した経験が財産となり様々な場面で活かすことができることです。

宮島 文香 さん (中北保健福祉事務所)

8:30 9:00 10:00 12:00 13:30 15:30 17:15

登庁	会議資料作成	母子カンファレンス	昼休み	訪問	訪問記録、窓口業務	退庁
----	--------	-----------	-----	----	-----------	----



- H24.4.1 峡南保健福祉事務所(採用)
- H27.4.1 中北保健福祉事務所

◆現在の仕事

母子保健対策、地域看護の推進、健康づくり対策、看護学生実習、プリセプター指導者、保健指導・健康相談、新型コロナウイルス感染症対応など。

◆現在の仕事のやりがい、魅力

個別支援や担当事業を通して、様々な制度のことを勉強したり他職種の方達と顔の見える関係になると、視野も知識も広がりやりがいを感じます。支援している住民の方から感謝の気持ちを伝えられると、役に立つことができたと感じています。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

初めて勤務した峡南保健福祉事務所にて、担当事業の会議を企画・運営した経験。全てが初めてで緊張しましたが、そのときの経験が今の仕事のベースにつながっています。

◆県職保健師になった理由

県民のために県政に携わって、山梨県全体の健康づくりのために役に立ちたいと思ったからです。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

自分の経験が後輩指導に活かすことができたり、外部機関の人と意見交換を交わせるようになってきたことです。

◆今後の目標

自分の強みを活かしながら、これからも山梨県の健康づくりのために成長していきたいです。

◆山梨県の魅力！

おいしい果物や水、豊かな自然、数多くの温泉、そして壮大な富士山がいつでも見える。山梨特有の恵みは沢山あります！

先輩たちの職場を紹介します

▶ 健康長寿推進課〔本庁〕

認知症対策や介護予防、介護支援専門員の研修、高齢者施設の実地指導等高齢者福祉対策や介護保険に関する業務を担当し、住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく生きるための『地域包括ケアシステム』の推進に取り組んでいます。



▶ 医務課〔本庁〕

医務課看護担当は、看護職員の研修事業や、一日看護師体験、修学資金貸与など県内看護職員の質の向上や、確保対策等を行っています。また、保健師の現職教育や災害時の保健師派遣・体制整備なども行っています。



▶ 感染症対策センター〔本庁〕

感染症法に基づき、感染症の情報収集・分析・発信、人材育成を行っています。また、現在は新型コロナウイルス対策の司令塔として、医療体制の確保や療養支援体制の構築、クラスター対策に取り組んでいます。



▶ 職員厚生課〔本庁〕

職員が安心して公務に専念できるよう、健康診断、健康相談、健康教育などを行っています。また、「職員の心の健康づくり指針」に基づきストレスチェックや研修会を開催し、メンタルヘルス対策の充実を図っています。



職員向けに健康づくり情報を提供します →

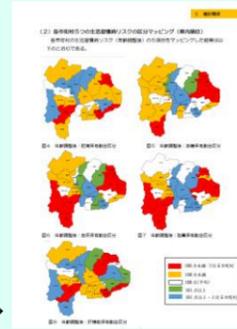
▶ 精神保健福祉センター

地域精神保健活動の中核機関として、関係機関への技術援助や、研修企画・調査研究を行う他、自殺対策・ひきこもり支援・思春期相談・依存症対策等県民の心の健康の保持増進と社会復帰に向けた業務を実施しています。



▶ 国保援護課〔本庁〕

国民健康保険被保険者の健康増進を図るため、保険者(市町村)が実施する特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業が効果的に運営されるよう、研修やデータ分析などの支援を行っています。健診やレセプトデータから、市町村の健康課題を把握 →



▶ 健康増進課〔本庁〕

生活習慣病などを予防するための健康づくり、がん、難病、感染症対策など県民の健康増進を図り、生涯にわたる健やかな生活を支えるため健康寿命の延伸を目指し、普及啓発を始め幅広い事業に取り組んでいます。



関係団体と禁煙推進の街頭キャンペーン →

▶ 子育て政策課〔本庁〕

子育て政策課では、「子育てしやすさ日本一」の実現へ向け妊娠・出産から子育てに至る、切れ目のない、きめ細やかな支援を行っています。その業務の一つとして母子保健関係者の研修会など開催しています。



▶ 峡東保健福祉事務所 (保健所)

難病等を抱える方の療養支援、結核・感染症対策、公共医療事業、健康危機管理、介護保険事業等の業務に取り組んでいます。仲間のサポートを受けながら、さまざまなことにチャレンジできる職場です。



小学生にたばこの害について出前授業(受動喫煙対策) →

▶ こころの発達総合支援センター

心の問題や発達障害等のあるご本人と家族、関係機関を対象に、医療と福祉支援を総合的に提供する機関です。医師や保健師、心理・福祉職等多職種で、相談や診療、療育プログラム、人材育成等地域支援を行っています。



幼児集団療育親グループの様子 →